

被災経緯等

- 1) H28年連続台風災害：H28. 8. 20～23 台風11号と台風9号が相次ぎ上陸
 - ・72時間雨量：**188mm** ペーパン川・倉沼川で氾濫被害
 - ・H28災(旭川建設管理部) **28**箇所 約**7**億円→H30.3迄にほぼ完了
 - ・河川整備を計画的に進めるための用地の確保が課題。
- 2) H30年7月豪雨災害：H30. 7. 2～5 梅雨前線豪雨及び台風7号(温帯低気圧)
 - ・72時間雨量：**222.5mm** ペーパン川・倉沼川で氾濫被害
 - ・H30年災(H30.7.末時点) 旭川建設管理部：**49**箇所 約**20**億円
旭川市：**6**箇所 約**2**億円 東川町：**18**箇所 約**3**億円

連絡協議会の検討状況

・平成28年の連続台風に続き、ペーパン川及び倉沼川において農地等が大規模に浸水するなど甚大な被害の発生を受け、災害復旧・河川整備等を早急に進めていくために設置

- 1) 第1回連絡協議会 平成30年7月19日(木)
 - ・用地確保等の課題共有
 - ・緊急対策等の要望事項確認
 - ・地域との連携強化の必要性
 - ・流域全体の河川整備

- 2) 第2回連絡協議会 平成30年8月10日(金)
 - ・緊急対策の進捗状況
 - ・課題解決に向けた地域との連携強化
 - ・被害箇所の報告
 - ・農地の災害復旧等

◎災害復旧の方針

速やかな原形復旧はもとより、再度被害防止の観点から、機能向上を図る復旧工法の採用を検討

◎地域と連携しながら、地域住民への説明を早急に実施

当面のスケジュール

				ペーパン川			倉沼川
		災害査定	復旧工法 検討	用地確保の取組		災害復旧 工事	災害復旧 工事
				地元説明	用地測量		
2018年	8月	上旬	災害査定(早期)			・一部事前着手	・事前着手
		中旬	査定準備	↓検討	↓事前説明		
		下旬		↑復旧工法(案)	↓		
	9月	上旬				・委託発注	
		中旬		↑国との調整	↓起工承諾		
		下旬					
	10月	上旬					・事前着手
		中旬	↑災害査定				
		下旬					発注準備
	11月				・境界確認	発注準備	
12月							
2019年	1月						↓
	2月						・本格着手
	3月				・用地確定図		
	4月			・用地補償契約		・本格着手	